

令和2年4月7日（火）に予定されていた令和2年度第1学期始業式で式辞として生徒の皆さんに話そうと思っていたことです。

おはようございます。

本日から学校を再開し、令和2年度が始まります。

3月2日からの臨時休業に始まり、この1カ月は、皆さんそれぞれにとって制限が多い、先が見えない毎日であったと思います。

ようやく学校を再開しますが、愛知県及び名古屋市は「感染確認地域」であり、引き続きや十分な注意が必要です。

皆さんは感染予防の必要性をどの程度意識してるでしょうか？

あまり実感のない人もいるでしょうし、見えないウイルス相手に非常に不安を感じている人もいるでしょう。

本日教育活動再開に関するお願いと時差登校について、文書を配付しますが、皆さんそれぞれが自分のことと捉えてくれることが不可欠です。同時に冷静に落ち着いて必要な対応をすることが大事です。

自分自身の感染予防のため、また自覚症状がないまま感染を拡大させないため、協力してください。

さて、去年の始業式では校訓について話をしました。今年は本校の教育目標について話をしたいと思います。一年生には昨日の入学式でも触れました。

教育目標は

『確かな学力を備え、明朗闊達で、多様な人々と協働して学ぶことができる健全で品位ある人間の育成』

です。

明朗闊達は「明るく朗らかで心の広いさま、度量の大きい些事（さじ）にこだわらないさま」という意味です。つまり

『変化の激しいこれからの時代を生き抜く確かな学力を身につけ、明るく朗らかで大らかな心を持ち、多様な人と協調できる品位ある人間であれ』

といった感じでしょうか。とても魅力的な人間像です。

校歌には自由の風、自主の精華（精華は神髄といった意味です）とあります。松蔭高校には、私たちへの期待や、心に響く言葉がたくさんあります。

大変な状況での令和2年のスタートですが、自由の風のもと、自主の精華を競い、明朗闊達でありましょう。